

校長便り 自律



県立南風原高校
& 高等支援学校

平成30年 4月23日 (月)

校長 辻上 弘子

第 2 号

南風魂 溢れる 学年集会 まさに ひれ伏すしかありませんでした

「間違ってもいい、最初は誰でも間違うんだ。次気をつければ良いのだから」と力強い発声（今後 様々ミスが出てくるに違いないの主任親心!）とは裏腹に、学年集会では効果的な指示もあり、鐘鳴る前にはほぼ整列完了。拍手をしたくなりましたし、先日実施スタバルでの「人の話は目を見てきちんと聴くように」との前川主任言葉は生徒に響いている様子。指導部担当の真美先生の服装規定説明に関しては「わたくし絶対に守ろう」と思わず心に決める程の必死さがございました。生徒指導部伊計主任からは、挨拶はする方もされた方も気分が良くなると、生徒を登場させてのデモンストレーションあり。限られた集会時間を有効に使い 生徒の琴線に触れる話をし、学年団を集団として上方へと導いていく先生方の団結力に、わたくしはまさにひれ伏すしかありませんでした。特に新入生に関しては最初がカンジンとばかり、進路指導や生徒指導の各部をはじめ、教科においても各先生方が細心の注意を払い準備万端で拔かりなく臨んでいる所です。各学年とも学年集会第1回目を終えましたが、学年団を中心に各部署が学年をサポートし、生徒を更に伸長させていくぞと意気込みを感じた集会でした。こうして南風魂、本校 DNA が継承されていくのでございます。

生徒会主催 20日(金) 新入生歓迎球技大会 感動の嵐でございました

「ご一緒にどうですか」始業式の翌々日には高等支援の代表女生徒3名がやって来てくれ、黒地に金模様ナド T シャツ見本が校長室テーブルいっぱいとなりました。当日は職員も持っている『南風原 spirit』の文字を背負った赤 T シャツ の生徒もたくさん。サプライズでの、生徒優勝チーム対職員チームでは、空気が情熱の赤に染まり館内が1つになった気が致しました。何から何迄生徒会による企画運営にも 感心させられっぱなしの1日となりました。